

「国旗」と暴力

としまると考える日の丸

「日の丸・君が代」をどうするのか。この問いは、主に教育現場での闘いに頼ってきましたが、本来は学校だけの問題ではありません。2025 年 10 月の自維連立政権合意書では、「日本国国章損壊罪」を制定し、「外国国章損壊罪」のみ存在する矛盾を是正する、とありますが、この項目が「三、皇室・憲法改正・家族制度等」という章立てに在ること自体、刑法の「矛盾の是正」の問題ではないことは明らかです。

植民地支配と侵略戦争を「日の丸」を掲げて遂行した、その歴史的な事実と経緯を理解することは極めて重要です。その一方で、戦争や戦闘といえば「旗」や「国旗」のもとでなされてきた歴史があり、「旗」を掲げた暴力は、今もなお継続しています。「統合のシンボル」とは、裏を返せば「排除のシンボル」。個々人の「内心の自由」の問題だけではなく、ナショナリズムや暴力の問題として「国旗」そのものを問い直す、ラディカルな議論を始めたいと思います。

表現やシンボル、国家、暴力など、学問領域にとらわれずに発信を続けてきたとしまるさんと一緒に考えるセミナーに、ぜひご参加ください。

日 時： 2026年 4 月 29 日(水・休) 14:00~16:30

お 話： としまるさん

会 場： wam オープンスペース(定員 40 名/予約・先着順)

参加費： 1000円(wam 会員。非会員は 1200 円)



*オンラインは翌日夕方以降のオンデマンド配信(1 か月)になります。

お申し込みは左記二次元コードから Google フォームで、wam 事務局にメールをくだされば URL をお送りします。会場参加のみ電話での申し込みも可能です。



【ゲスト紹介】 としまる

JCA-NET 代表理事。富山大学元教員。専門は、現代資本主義論、情報資本主義論。民衆に対する監視社会化や、資本主義のグローバル化に抗する市民運動、さらには音楽、アートなど幅広い分野で活動を続け、暴力とその正当性についても考え続けている。反天皇制の運動には古くからかわり、1986年に富山県立近代美術館が昭和天皇の肖像を使用した美術作品を事実上検閲した事件では、裁判で天皇と「表現の自由」の問題を世に問うた。2025年からは庶姓運動を開始、家制度の象徴である姓を外して「としまる」と名乗る。旧姓は小倉、戸籍上は妻の姓で、小倉利丸の名での著書・共著等は40冊を超える。

主催：アクティブ・ミュージアム「女たちの戦争と平和資料館」(wam)
東京都新宿区西早稲田 2-3-18 AVACOビル 2F 〒169-0051
t 03-3202-4633 f 03-3202-4634 wam@wam-peace.org

wam セミナー 天皇制を考える

wam は、「女性国際戦犯法廷」(2000年、東京)から20年の節目にあたって、2020年9月から天皇由来の「祝日」のうち4日間を「祝わない」ために開館することにしました。天皇の戦争責任・植民地支配責任を問い、天皇制を維持してきた責任を見つめなおすために、タブーなく天皇制について議論できる「場」をつくっていきます。

■これまでのセミナー

第1回 2020年11月3日

「叙勲・お言葉・思いやり…天皇と「国民」を結ぶもの―「明治節」を考える―」
お話：池田浩士さん(京都大学元教員)

第2回 2021年2月11日

「桜の国の悲しみ、菊の国への抗い―「紀元節」に伝えておきたいこと―」
お話：石川逸子さん(詩人)

第3回 2021年2月23日

「「歌会始」が強化する天皇制―序列化される文芸・文化―」
お話：内野光子さん(歌人)

第4回 2021年4月29日

「「昭和の日」に記憶する天皇の戦争責任―近年の研究成果から学ぶ―」
お話：山田朗さん(明治大学平和教育登戸研究所資料館館長)

第5回 2021年11月3日

「近代天皇と家族の表象」
お話：北原恵さん(大阪大学元教員)

第6回 2022年2月11日

「近代天皇制がつくってきた差別―水平社宣言から100年を機に考える―」
お話：黒川みどりさん(静岡大学教員)

第7回 2022年4月29日

「天皇と戸籍」
お話：遠藤正敬さん(早稲田大学台湾研究所非常勤次席研究員)

第8回 2022年11月3日

「撃ちてし止まむ！」
お話：池田浩士さん(京都大学元教員)

第9回 2023年2月11日

「天皇制と仏教」
お話：源淳子さん(仏教・ジェンダー研究)

第10回 2023年4月29日

「植民地責任から問う―靖国神社、合祀の罪」(準備編)
映画上映：『あんによん・サヨナラ』(監督：金兌鎰、共同監督：加藤久美子/2005年/107分)
アフタートーク：南相九さん(東北アジア歴史財団研究政策室長)

第11回 2023年5月25日

「植民地責任から問う―靖国神社、合祀の罪」
お話：李熙子さん(太平洋戦争被害者補償推進協議会代表)

第12回 2023年11月3日

「日本の近現代史からみる―天皇制と勲章」
お話：栗原俊雄さん(毎日新聞専門記者)

第13回 2024年2月11日

「「国民」が支える象徴天皇制なぜ天皇制に終止符が打てないのか」
お話：伊藤晃さん(千葉工業大学元教員)

第14回 2024年4月29日

「女のからだと天皇制―墮胎罪と「不良な子孫」の出生防止」
お話：大橋由香子さん(フリーライター・編集者)

第15回 2024年11月3日

「「皇国史観」はどう作られたか―文部省の思想統制政策と歴史家の責任」
お話：長谷川亮一さん(立教大学日本学研究所研究員)

第16回 2025年2月11日

「天皇のお金―明治から戦後まで」
お話：加藤祐介さん(一橋大学大学院専任講師)

第17回 2025年4月29日

「沖縄と天皇制―疑似天皇制に振り回される女性たち」
お話：宮城晴美さん(沖縄女性史家)

第18回 2025年11月3日

「在日朝鮮人と天皇制―指紋押捺拒否の闘いから」
お話：崔善愛さん(ピアニスト)

第19回 2026年2月11日

「天皇制裁判の現在地―靖国神社と政教分離」
お話：井堀哲さん(弁護士)

会員になりませんか？

●友の会年会費：3,000円 ●維持会員年会費：10,000円

会員にはニュースレター(年3回)のほかイベント案内などを逐次お知らせします。
維持会員は入館料無料。各種セミナーや刊行物の割引もあります。

郵便振替口座番号：00110-2-579814

口座名称：「わたしの戦争と平和人権基金」係

wam

アクティブ・ミュージアム

わたしの戦争と平和資料館

women's active museum on war and peace

開館時間：金・土・日・月 13:00~18:00

2月11日、2月23日、4月29日、11月3日は「祝わない」ため開館

休館日：火・水・木・祝日(天皇制由来の上記4日を除く)

※時間外の団体来館はご相談ください。
※展示入れ替え期間と年末年始は休館となります。

入館料：18歳以上 500円

18歳未満 300円

小学生以下 無料

※障害のある方の付き添いは無料です。

東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVACOビル2F 〒169-0051
T:03-3202-4633 F:03-3202-4634 E:wam@wam-peace.org
URL:https://wam-peace.org

